

山口大学医学部附属病院から笑顔と情報を発信するコミュニケーションマガジン

山大病院だより

1 2016
月号
vol.226



NEWS 新病棟の起工式を行いました



岡正朗学長による鉄入れ



本年もよろしくお願い申し上げます

新年のご挨拶

山口大学医学部附属病院 病院長

田口敏彦



新年明けましておめでとうございます。
2016年のスタートにあたりご挨拶させていただきます。

振り返れば、昨年は大きくさらなる発展をするためのスタート台に乗ることができた年であったと私自身は感じています。立体駐車場、新中央診療棟が完成しました。立体駐車場の完成により外来近くに528台の駐車が可能になり、すべての患者さんが雨の日も濡れずに受診することが可能になりました。

また、いよいよ新病棟の建設及び新保育所の建設が始まりました。敷地内での建設は、現在の診療にも大なり小なり影響がでてきておりますが、本年度もみなさまの御協力をお願いします。昨年は新病棟内での各科の配置などの建物の区画計画などが主な作業でしたが、今年は、その区画内に入れる機器の計画がはじまります。新病棟に移るからといって、医療機器

もすべて新しくなるというわけではなく、使えるものはすべて新病棟に移動いたします。

全国的にも、国立大学附属病院の経営状態は非常に苦しく、特に医療経費率の高い病院では、消費税アップの影響も大きく受けております。事実認識、客観的な将来予測などをベースに、ヒューマニズムとリアリズムをうまく調和させ、統合していく努力が必要になってきます。それには、県内唯一の特定機能病院である山口大学医学部附属病院の役割を明確化し、医療・経営の両方の効率化と標準化を進めていかなければなりません。大学病院として、非営利性・公共性を高めながらこの課題を進めていくには、モデルとなる病院は全国どこにもなく、私達が独自でやらなければならぬ課題であります。一方で大学病院が他の病院・保健・福祉施設から孤立して存在することは不可能です。これらの施設との連携はますます重要になってきており、ネットワーク形成にも力を入れる必要があります。

「Your health, Our wish」を合言葉に、医療制度の改革に期待するとともに、今すぐ現場でできることは実行に移したいと思えます。

皆さまにとって良い年であることを祈念しております。

ホットなニュースをご紹介します

山/大/病/院 NEWS

Part 1

NEWS

新病棟の起工式を行いました

10月16日(金)、山口大学医学部附属病院新病棟建設予定地において、新病棟新営工事起工式を執り行い、山口大学関係者及び建設関係者ら約70名が参列しました。

本院では国立大学病院としては初めての2回目の再整備となる病院整備事業を進めており、その一環として、平成27年から平成30年度末にかけて14階建て、建築面積4,484㎡、建築延べ面積34,552㎡の新病棟を建設予定です。

起工式では、工事の安全を祈願する神事が執り行われ、岡正朗学長による鍬入れ、株式会社清水建設石水執行役員支店長による鋤入れがあり、続いて山口大学関係者及び建設関係者による玉串奉奠が行われました。

神事終了後、本学を代表して岡学長と田口敏彦医学部附属病院病院長が挨拶し、岡学長は「新病棟は長年の夢。県内唯一の特定機能病院として、新しい医療の提供・医療人の育成など、様々な役割を担っていきたい」と述べ、田口病院長は「Your Health, Our Wish」という病院のスローガンと理念について紹介し、起工式を迎えるまでの多くの支援に対する感謝と、これからの地域医療発展への決意を述べられました。



田口病院長の挨拶



本学の施工管理者



新病棟完成予想図

NEWS

院内保育所の起工式を行いました

12月11日(金)、山口大学医学部附属病院の新・院内保育所の起工式が建設予定地において行われました。

本院の院内保育所「たんぼぼ保育園」は、現在、定員34名、生後43日から4歳までの乳幼児を対象に運営していましたが、老朽化が進んでいること、勤務環境改善の一環として保育所機能を充実させることを目的として建て替えることになりました。

新営保育所は、鉄骨造2階建て、建築面積921.50㎡、建築延べ面積1,083.66㎡で、定員90名、対象乳幼児を小学校就学前までに拡大し、病児保育や夜間保育も実施する予定です。

起工式には、本学関係者及び施工に関わる企業の代表者ら約50名が出席し、工事の無事を祈りました。式典では田口敏彦病院長による鍬入れの儀、本院職員及びたんぼぼ保育園の園児らによる玉串奉奠などが執り行われました。

神事終了後、本院を代表して田口病院長が挨拶し、「たんぼぼ保育園の建て替えは、多くの職員の希望であり、子育てと仕事の両立を支援することはもちろん、支援を拡大することで医療機能のクオリティアップにつなげたい」と述べ、起工式を迎えるまでの多くの支援に対する感謝と、これからの本院の医療発展への決意を述べました。



田口病院長による鍬入れ



ヤマミと一緒に



新保育所完成予想図



11月24日(火)〜26日(木)の3日間、各病棟のスタッフ及び入院患者さんを対象として、ホスピタルアートのワークショップを開催し、3日間で456個の作品が出来上がりました。
今回のホスピタルアートは、新病棟新営工事を含む病院再開発をきっかけとして、患者さん及びご家族等の利用者、また、院内スタッフにとって心安らぐ空間を創出すること、そして、再開発整備事業に対する理解と期待を高めることを目的に、ワークショップを通して、患者さん・スタッフみんなでタングラム(※)作品を共同制作するものです。



病院整備計画 だより



完成イメージ(平成28年3月末予定)



ワークショップでは、山口県出身のアーティストである末永史尚氏のサポートの下、「山口の自然」をテーマに各自でアイデアを膨らませ、木製のピースに着色をしました。これらのピースは、アーティストによって、病棟フロア毎に1つの板に貼り合わせられた後、タングラムパズルの形にカットされ、山口の景色を表現する「何かの形」に組み替えられます。
完成した作品は、平成28年3月末に、第1病棟1階のエレベーターホール壁面に設置される予定です。ご期待ください。



組み替えの例(ウサギ)

※タングラム…ある形の板を幾つかに分割して組み直し、別の形を作るパズルの一種

再開発整備事業へのアクセス

山口大学 再開発

検索



再開発整備事業URL

<http://h-seibi.hosp.yamaguchi-u.ac.jp>

病棟リレー

各病棟を紹介します！

1 病棟 5 階 東

1 病棟5階東は、40床のあらゆる疾患を対象とした小児病棟です。看護師28名、保育士2名、看護助手2名、クラーク1名で、患児と家族、双方に目を向けあたたかい看護を提供できるよう取り組んでいます。



看護師は慢性疾患や手術患者を対象とした非感染チームと、喘息や肺炎・胃腸炎等の感染チームに分かれ、それぞれの特徴を活かした看護を探求しています。非感染チームでは、長期入院に加え治療の影響で心身への負担が大きいため患児・家族ともにストレスがかかりやすい状況です。そのため、個々のニーズに応じた看護が提供できるよう担当医との情報共有を密にしています。また月に1度、中国・四国ブロック小児がん看護ネットワークで開催されるWebカンファレンスに参加し、他病院との情報交換も行い、日々の看護に役立てています。

感染チームでは、短期入院や緊急入院が多く、突然の入院によりストレスを抱える患児や家族に対し、安心して治療が受けられるよう限られた時間の中での関わりを大切にしています。

小児は成長発達段階にあり、様々な段階に応じた対応が必要となります。疾患により入院を繰り返す患児も多くいます。少しでも入院生活でのストレスを緩和できるよう、保育士による本の読み聞かせや遊びを取り入れたり、七夕やク

スマス等の季節ごとの行事や、廊下の装飾など、入院中でも四季を感じられるよう工夫しています。

また、長期入院の学童期にある患児は、退院後の学校生活に早く馴染めるよう院内学級に登校しています。

辛い検査や治療にも関わらず日々成長し、時に笑顔を見せてくれる子供たちから、私たちスタッフが癒されることも多くあります。今後も患児と家族が安心して入院生活を過ごせ、笑顔で退院できるように取り組みを、スタッフ全員で行っていきたく思います。



ネットワーク会議

退院後の学校生活へ早く馴染めるよう、院内学校へ登校。

宮崎師長より一言
小児科病棟は全ての疾患が対象となるため、看護師も幅広い知識・技術が求められます。その中でも専門性を高めるために、昨年度より中国・四国地区ブロックの他大学とのネットワーク会議に毎月参加し、スタッフのモチベーションにも繋がってきています。これからも医師や他職種との連携を強めて、患児と家族へあたたかい看護の提供を目指していきたく思います。



プレイルームで遊んで、入院生活でのストレスを分散！

災害対策訓練

突然の災害に備えて

を実施しました

手術の停止並びにトリアーゼンセンターの設置等を宣言し、ドクヘリやDMATの派遣も決定されました。

また、看護部ではマンパワーによる10階から1階まで階段を利用した患者搬送、栄養治療部では常備している非常食の調理、薬剤部では震災による多数負傷者受入れ時に使用する緊急用医薬品の確認も同時に行われました。

参加者からは、訓練を通して「災害発生時の業務確認ができて良かった」、「緊急時に慌てずに作業ができると思う」等の良かった点や「被災状況により対応策を分けて考える必要あり」、「実際には情報量が多いため、多いため全てまとめられるか?」、「様々な面で準備不足の点がある」とそれ以上の反省点が報告されました。

まだまだ改善することが多い本院の災害対策ですが、今後も災害時に大学病院としての役割を十分発揮できるよう、この経験を活かし、対策を強化していきたいと思えます。

なお、この訓練は、国立大学附属病院災害対策相互訪問事業の一部として開催され、高知大学附属病院の災害対策関係者による外部審査も行われました。



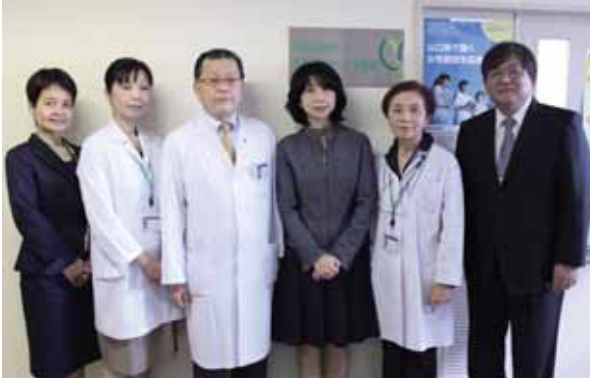
11月25日(水)、平成27年度第2回山口大学附属病院災害対策訓練を実施しました。この度の訓練は、大規模災害時における病院内の連絡体制が十分に機能するかどうかを検証することを目的として実施しました。

同日15時に、防府市を震源とする震度6強の地震が発生し、電気・ガスの供給及びエレベーターが停止、本院にも人的・物的被害があるという想定で始まり、迅速に災害対策本部が設置されました。災害対策本部長の田口病院長をはじめ、副病院長、災害対策委員及び事務職員の約30名が参集し、各部署、メディア、官公庁から報告される情報を収集し、院内外の被害状況を取りまとめました。その情報をもとに、本院の診療機能を評価し、震災による多数負傷者を院内に受け入れ可能な状態であるかどうかを災害対策本部会議で協議しました。結果、多数負傷者を受け入れ可能と判断し、災害対策本部長から病院を「災害モード」とする、通常の外来診療及び不急



NEWS

**「医療人キャリア支援室」
看板除幕式を行いました**



11月10日(火)、第1中央診療棟3階「医療人キャリア支援室」において、看板除幕式を行いました。

「医療人キャリア支援室」は、山口大学医学部附属病院医療人育成センター男女共同参画支援部門内に設置され、全ての医療人を対象として、女性も男性も働きやすい職場環境を目指して、充実した将来設計、ワーク・ライフ・バランスを提供できるよう支援を行うことを目的としています。特に女性医師への支援については、山口県の委託により山口県女性医師キャリアコーディネーターを配置し、山口県全体の女性医師への支援、情報提供も開始しています。

NEWS

平成27年度 総合訓練を行いました



12月18日(金)、宇部市中央消防署の指導協力のもと、医学部長・附属病院長をはじめ約70名が参加し、総合訓練を実施しました。

訓練では、夜間に第1病棟9階のデイルームから出火したとの想定により、通報連絡・初期消火・避難誘導の訓練を行い、避難先での自衛消防団・応急救護所の設置・報告訓練を行いました。

今回は患者さん役を出火階へ集中させ、ストレッチャーや車椅子で非常用エレベーターを使用し避難させるなどより実践的に行いました。今回の訓練を教訓とし、今後も防火対策を推進していきます。

NEWS

**平成27年度
コーチング研修を実施しました**

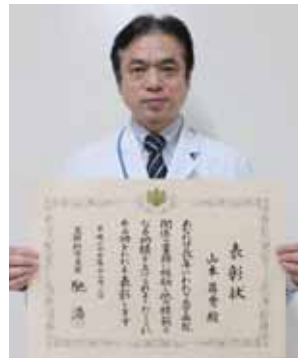


10月19日(月)、病院職員および医学部から20名が参加しコーチング研修を実施しました。今年度から医療人育成センターコメディカル支援部門が主催となり、医学部附属病院職員にコミュニケーションの重要性を認識させると共に、コーチングの基本的知識及び技術を習得させることにより、よりよいチーム医療の実践及び組織活動能力の向上に資することを目的として実施しています。

研修では「やる気と可能性を引き出すコーチング」をテーマに、講師からコーチングの考え方の講義の後、傾聴・質問・承認のスキルについて説明と参加者同士での対話型の実習がセットで行われました。最初は初対面の相手との対話に緊張も見られましたが、ペアの入れ替えを繰り返していきながら楽しい雰囲気にも包まれた研修となりました。

NEWS

**平成27年度
医学教育等関係業務功労者表彰**



このたび、臨床検査技師の山本昇秀さんと看護師の平原文子さんが、平成27年度医学教育等関係業務功労者表彰を受賞しました。

本賞は、文部科学省から医学または学術に関する教育、研究や患者診療等の補助的業務に関して顕著な功労のあった者に対して贈られるものです。

多年にわたり、臨床検査業務及び看護業務に従事してきたことなどの功績が称えられました。

※写真は臨床検査技師の山本さん

NEWS

小児科病棟にクリスマスプレゼント

12月10日(木)、宇部かたばみライオンズクラブから、小児科病棟に入院中の子どもたちへクリスマスプレゼントが贈られたことにあわせ、感謝状の贈呈式がプレイルームで行われました。

式では、同クラブ藤瀬秀明会長から田口病院長にクリスマスケーキをかたどったタオルのプレゼントが手渡され、田口病院長からは感謝状を贈るとともにご厚意に対する感謝の意が述べられました。

その後、サンタクロースに扮した藤瀬会長が各病室を訪れ、子どもたちにプレゼントを手渡しました。プレゼントを受け取った子どもたちは笑みを浮かべ、とても喜んでいました。



NEWS

「クリスマスの夕べ」で心安らぐ



プレゼントを配る田口病院長

クリスマスイブの12月24日(木)、医学部附属病院外来棟1階ロビーにおいて、恒例の「クリスマスの夕べ」を開催しました。

開演に先立ち、外来棟ロビーに集まっていた入院患者さん達へ、サンタに扮した田口病院長及び検査部、放射線部、薬剤部のメディカル・スタッフから、クリスマスプレゼントが配られました。

山口大学のマスコットキャラクターである「ヤマミィ」も駆けつけて、プレゼント配付を手伝い、手渡された患者さん達は大変喜ばれていました。

「クリスマスの夕べ」は、田口病院長の挨拶で開演し、オープニングでは、院内保育所「たんぼぼ保育園」のさくら組園児による「トッキュウジャー」などの音楽に合わせた遊戯が行われ、園児たちの可愛いダンスに温かい拍手が送られました。

続いて、ヤマハ音楽教育システム講師の三輪あずささんによる「ミニコンサート」が行われ、エレクーンの奏でるクリスマスメドレーなどの楽曲に聞き入り、集まった200人程の入院患者さん達はとても楽しい時間を過ごしました。

NEWS

「日本フィルハーモニー交響楽団 弦楽四重奏コンサート」を開催



10月11日(日)、外来診療棟1階ロビーにおいて、「日本フィルハーモニー交響楽団のメンバーによる弦楽四重奏 宇部興産グループふれあいコンサート」を開催しました。

これは、前日10日(土)の「第8回宇部興産グループチャリティーコンサート(日本フィルハーモニー交響楽団宇部公演)」開催に合わせて、宇部興産及び交響楽団のご厚意により、4人の弦楽器奏者(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ)に演奏していただいたものです。

入院患者さん、近隣住民の方など約180人の観客は、間近でのプロの演奏による弦楽器の美しい音色に触れ、時間が経つのも忘れ、聴き入っていました。

NEWS

バレーボール大会 優勝は「5階西チーム」!!



優勝「5階西チーム」

10月31日(土)、教職員レクリエーション行事として恒例のバレーボール大会が開催され、全13チーム・総勢200人が参加して、熱戦が繰り広げられました。

予選ブロックで勝ち上がった上位4チームが決勝トーナメントに進み、「5階西チーム」と「Gチーム(外来)」の決勝戦の組合せとなり、白熱した戦いの結果、「5階西チーム」が見事優勝しました。



準優勝「Gチーム」

NEWS

山口大学大学院医学系研究科の
再生医療に関する成果報告会が開催されました



12月13日(日)、山口大学大学院医学系研究科の坂井田功研究科長(消化器病態内科学教授)らの研究グループによる再生医療に関する成果報告会がANAクラウンプラザホテル宇部で開催され、馳浩文部科学大臣をはじめ多数の関係者が出席しました。

この報告会は、坂井田研究科長らの研究グループが世界で初めて実施した患者さん自身の骨髄細胞を利用した肝再生療法(再生医療)、産学連携により共同で開発した培養を自動化する「ロボット細胞培養システム」などを紹介するために開催されたものです。

はじめに主催者を代表して岡正朗山口大学長より「山口大学が世界に誇る研究成果である肝再生療法についてご報告できることは大きな喜びである」と挨拶の後、馳大臣から「山口大学の強みである産学官の堅い連携によりなされた大きな成果であり、この研究成果が世界標準の治療技術として多くの患者さんの命が救われることを願います」と挨拶がありました。

坂井田研究科長から「肝硬変症に対する自己骨髄細胞を用いた肝臓再生療法」について、澁谷工業株式会社の澁谷弘利社長から「今後の事業展開」について報告の後、全国で初めて本学医学系研究科保健学専攻に開設された「臨床培養士養成課程」について保健学専攻の野島順三教授から説明がなされました。

その後行われた質疑応答では、参加者から海外への再生医療に対する人材の養成や技術展開に関する質疑があり、活発に意見が交わされました。



岡正朗学長(左)と馳浩文部科学大臣による挨拶



鏡開き



編集後記

新年あけましておめでとうございます。先日、「病院だよりいつも読んでいますよ」と患者さんにお声をかけていただきました。大変うれしく思いました。ありがとうございます。今年も山大病院の旬の情報をたくさんお届けできるようにがんばりますので、よろしく願いいたします。

皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしております。
今後読んでみたいテーマ、興味のある記事などお気軽にお寄せください。
FAX 0836-22-2113 E-mail me202@yamaguchi-u.ac.jp

企画発行：山大病院だより編集委員会
事務担当：山口大学医学部総務課総務係
〒755-8505 山口県宇部市南小串一丁目1番1号
TEL 0836-22-2007 URL <http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp>